



沿岸部に生息し淡水域にまで侵入する。近年平野部の河川でも見かける。北潟湖産 全長：約15cm

ボラ科 ボラ属

【全長】60cm

## ボラ

学名：*Mugil cephalus cephalus*

### 分布域

日本全国に分布する。  
※ ほぼ全世界の温帯地域に分布する。

### 生息域

沿岸部～汽水域。夏場には  
淡水域にまで侵入する。



稚魚は汽水域にも多い。坂井市三国町産

胸鰭基底部に青色の斑紋があり、成熟すると眼に脂瞼が発達する。体色は青味を帯びた銀白色で背面側がやや青緑色。ほぼ全世界の温帯地域に分布する。脂瞼が発達している為か眼がよく、動きも俊敏でタモ網で採取するのは容易ではない。食性は雑食性で付着藻類やデトリタス・底生動物などを食べる。産卵期は10～1月頃で外海の海底で産卵するとされる。春(3～4月頃)に2cm前後の稚魚が、河口部や汽水湖などを群れて泳ぐのが視られる。

水槽での飼育は幼魚や若魚は問題ないが、成魚は水槽環境に慣れにくい。淡水～海水まで対応でき、餌は配合飼料に慣れる。

### 在来種

### 周縁魚

※ 群れて水面近くに生息する。驚くと水面をジャンプし、時には船にまで飛び込んでくる。幼魚は春～初夏に水田付近の排水路(純淡水域)にも侵入してくる。